

実施日：令和5年9月23日（土）秋分の日

天候：くもり

参加者：49名

午前:座学(飛鳥寺研修会館)

午後:ウォーキング(明日香村)

午前の座学1限目は、清水先生から「推古朝の寺院」の講義。欽明、敏達朝の仏教伝来時期は有力者の邸宅内で仏教が信仰されていましたが、推古朝からは、飛鳥寺をはじめ次々と寺院が建てられます。推古32年には46寺院あった(日本書紀)寺院の中で飛鳥の寺院が8ヶ寺数えられその解説を清水先生お得意の瓦談義でわかりやすくご解説頂きました。話の最後には清水先生著書の『飛鳥の古代寺院』のご紹介もありました。実はこの本の図版をご担当されました 両槻会 風人さんもこの日のイベントに参加されていました。

座学2限目は、西連寺先生から「明日香の民俗」の講義。

明日香村に伝わる伝承や行事の意味づけをご講義頂きました。特に生活に関わる「祈雨」「豊穰」に関しては、難波池の伝承、なもで踊り、飛鳥坐神社のおんだ祭、男綱、女綱の勧請綱など数多くの民俗行事が関わっていたことがよくわかりました。その他にも弥勒石や盟神探湯神事のお話もお聞かせいただきました。

午後からは明日香村内散策です。くもり空でしたが、暑すぎないウォーキング日和でした。

まずは、西連寺先生のご案内で男女和合の奇祭(おんだ祭)のある飛鳥坐神社にお参りし、次に清水先生のご案内で推古朝始まりの寺院「飛鳥寺」を訪ね、飛鳥寺の西門跡から南に向かいました。畦道には彼岸花も咲いていました。ほどなくして飛鳥川の岸辺の「弥勒石」の祠に着き西連寺先生にお話を伺ったあと「下半身の病氣にご利益のある」弥勒石にお祈りして北へ向かいました。次に豊浦寺跡(現 向原寺)で清水先生のお話を伺った後、西連寺先生のご案内で「難波池」と「甘樫坐神社」を見学しました。すべて午前中のご講義をお聞きした直後の実際の場所見学でしたのでとても判りやすく感じました。

お二人の先生方、本当にありがとうございました。それからご参加頂いた皆さま、お疲れ様でした。

